

ことばを交わせば、アートはもっと自由になる

対話型鑑賞でひらく イロイロな見方

～みんなの見え方がヒントになる～



「そんなふうに見えるんだ！」

誰かの一言にハッとしたり、自分の思い込みにふと気づいたり。

美術の知識・経験がなくても大丈夫！

自分のことばで話し、誰かのことばを聴く——

そのくり返しの中で、見えてくる自分の内側があります。

作品鑑賞と対話を通して、視点が広がる時間を

ゆったり味わってみませんか？

日時

2025年11月9日（日）13:30～16:00

会場

新潟県女性センター 女性団体交流室 2

（新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階）

参加費

500円

講師

荒井 直美さん（新潟市美術館 学芸員）



お申し込みはこちら↓



主催：21世紀型教育を考える会にいがた
R7年度新潟県女性財団「団体支援事業」

【対話型鑑賞とは】

複数の参加者で1つのアート作品を見ながら、それぞれの発見や感想、疑問などを話し合う、鑑賞者のコミュニケーションを通じた美術鑑賞法です。「みる、考える、話す、聴く」という4つの能力を駆使しながら鑑賞することで、ひとりで鑑賞するよりも、より多面的に作品の意味を読み取ることができます。
(「なぜ、世界のエリートはどんなに忙しくても美術館に行くのか?」岡崎大輔著/SBクリエイティブより引用)

【今回の講座では】

作品について感じたことや考えたことをファシリテーターとともに参加者同士で話し合いながら鑑賞します。
(2作品の予定)

作品名・作者、制作された年代などの作品情報を用いずに、参加者の見たこと・思ったことを紡ぎながら作品を味わいます。作品の解説や美術史などをレクチャーする講座ではありませんので、この点をご理解の上お申し込みください。

【対象・定員】 高校生以上(テーマに関心ある方ならどなたでも) 20人(申込先着順)

【申込方法】 チラシ表面の二次元コードのGoogleフォームからお申し込みください。

【一時保育】 保育申込みは、(公財)新潟県女性財団(025-285-6635)まで。利用にあたり説明があります。

- ・対象は生後6か月以上～小学校低学年
- ・要事前申込み・先着順(定員5名)・〆切りは10/24(金)17時まで
- ・保育協力費として子ども1名200円ご負担いただきます。

こんな想い、ありませんか？

対話型鑑賞に
興味があり
体験してみたい方

実はアートをどう
楽しんだらいいのか
わからないという方

自分の視点を見つめ
直したい方

アートの新しい
楽しみ方を
探している方

対話型鑑賞の活用
に関心がある方



主催・問い合わせ先

21世紀型教育を考える会にいがた

対話する機会と場を増やすため、2018年から市民活動スタート。
保育園や学童保育での「こども哲学」小中学校での哲学対話授業、
公民館主催・教員研修での哲学対話講座、おしゃべりアート鑑賞会
など多くの対話形式の講座・ワークショップを開催しています。

mail: 21kyouiku@gmail.com

HPはこちら



21教育

